

病院の実力「腰の病気」

医療機関別2019年手術・治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名

腰部脊柱管狭窄症手術 (人)	うち椎弓切除術・椎弓形成術 (人)	うち椎固定術 (人)	腰部ヘルニア手術・椎間板摘出術 (人)	椎間板内酵素注入療法 (人)
-------------------	----------------------	---------------	------------------------	-------------------

富山					
高岡整志会	568	496	72	271	0
済生会高岡	155	149	6	102	0
西能	142	84	61	89	43
富山大	100	31	69	16	4
市立砺波総合	94	45	49	57	12
済生会富山	81	70	11	—	—
黒部市民	56	29	27	22	0
厚生連高岡	53	38	15	42	7
富山赤十字	41	39	2	86	0
石川					
金沢脳神経外科	234	217	17	25	0
藤田整形外科ク	46	46	0	41	5
公立能登総合	42	22	20	20	2
新潟					
新潟中央	520	213	307	319	0
富永草野	202	194	8	170	4
新潟市民	185	84	101	15	6
長岡中央総合	155	124	31	87	5
魚沼基幹	94	51	43	35	0
新潟脳外科	2	2	0	1	0

「ク」はクリニック、「—」は無回答または不明

全国の調査結果は20日の「安心の設計面」に掲載しました。

勧められる。手術法には、背骨の一部を切り取るなどして神経への圧迫を取り除く「椎弓切除術・椎弓形成術」や、骨がずれて不安定になっている場合に行う「椎固定術」がある。

「椎間板ヘルニア」は、背骨と背骨の間でクッションの役割をしている椎間板が飛び出して神経を圧迫する病気。20〜40歳代に多い。多くは保存療法で改善するが、痛みやしびれが長引き、悪化する場合は手術を検討する。

手術と保存療法の間、中間的な治療として、椎間板に薬を注射しヘルニアを縮小させる「椎間板内酵素注入療法」が2018年に保険適用された。手術に比べると身体への負担は少ないが、生涯に1回しかできない。

腰痛や下半身の痛みには様々な原因があり、診断が重要だ。痛みやしびれが長引く場合は、専門医を受診したい。

病院の
実力

～富山編 152

腰の病気

痛みやしびれ
診断重要

今月は「腰の病気」を取り上げる。脊椎専門医のいる医療機関の「腰部脊柱管狭窄症」や「腰部椎間板へ

ルニア」の手術実績などを掲載した。

背骨(脊椎)の中には、脳からつながる中枢神経(脊髄)が通っている。

「脊柱管狭窄症」は、加齢に伴い骨が変形するなどして神経の通り道(脊柱管)が狭くなり、神経が圧迫されて起る。腰痛や足の痛み、しびれ、まひなどの症状が出る。

痛み止めなどの薬や運動、コルセットなどによる保存療法が基本だが、排尿障害が起る場合などは早期の手術が

痛み止めなどの薬や運動、コルセットなどによる保存療法が基本だが、排尿障害が起る場合などは早期の手術が